

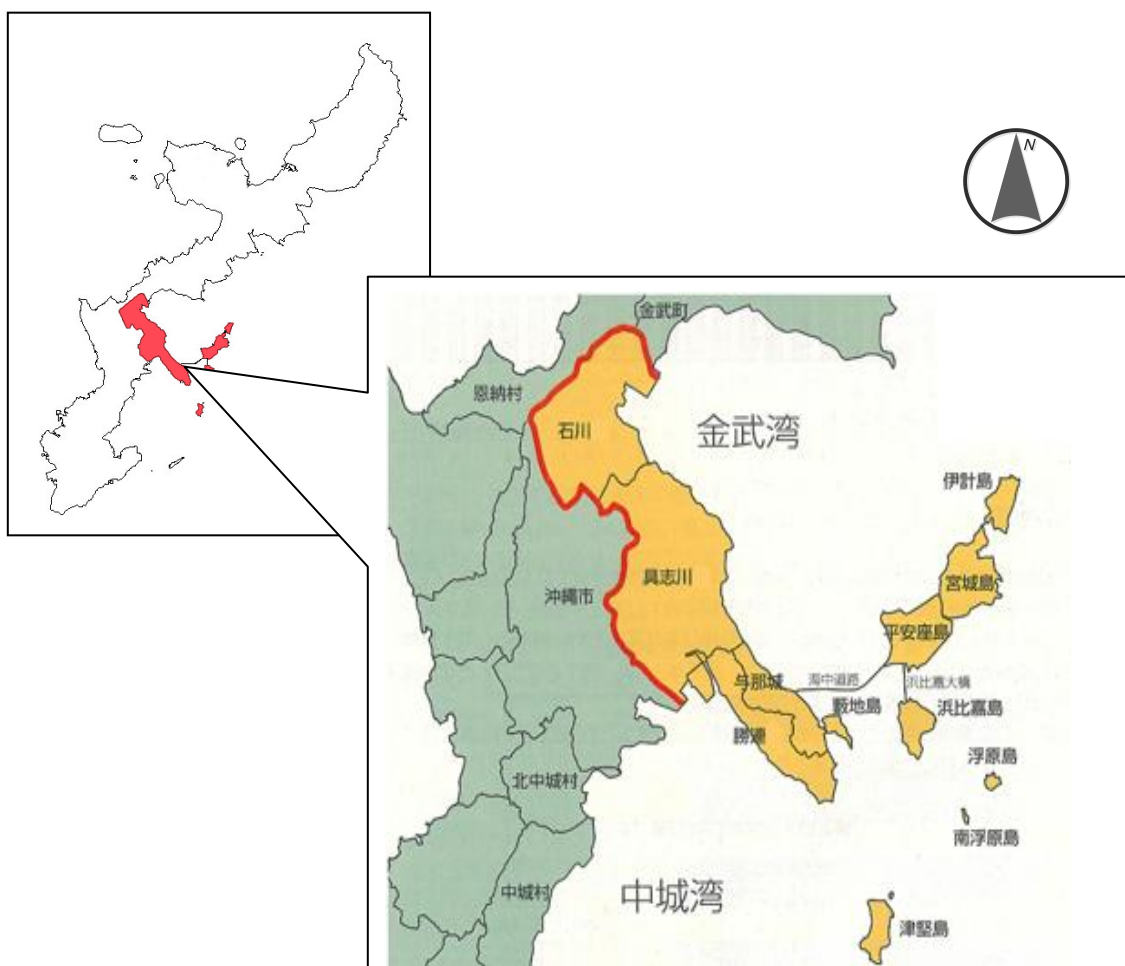
## 1. うるま市の概要

### (1) うるま市の位置

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から約 25 km の距離にあります。重要港湾である金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、有人、無人の 8 つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。

平成 21 年 4 月末日現在の人口は 117,105 人、世帯数は 43,162 世帯であり、面積は 86.03 km<sup>2</sup> となっています。

うるま市の位置



## (2) 沿革

うるま市は、具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな4市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約4,000年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつて砂糖キビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文6年(1666年)以前は、現在の沖縄市を中心とする越来間切に含まれる農村集落でした。その後、越来間切から分割された美里間切に含まれ、明治41年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米軍により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する1458年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成12年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約2,500年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、その歴史は古く、17世紀中頃以前には勝連間切に属していました。その後、西原間切として勝連間切から分離・独立され、尚寧王(しょうねいおう)の父親にあたる与那城王子尚懿(しょうい)が拝領地として授かったと記されています。さらに、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路(1972年)や伊計大橋(1982年)、藪地大橋(1985年)の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成16年9月の4市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年10月、沖縄県知事への合併申請後、平成17年4月1日に「うるま市」が誕生しました。

## (3) 住民登録人口の推移(直近10年分)

各年12月末現在

年次	地区	世帯数	人口			1世帯当り人員	対前年人口増加数	対前年人口増加率
			総数	男	女			
平成12年	うるま市	36,796	113,092	56,766	56,326	3.1	940	0.8
	具志川地区	20,113	62,736	31,108	31,628	3.1	844	1.4
	石川地区	7,794	22,500	11,302	11,198	2.9	84	0.4
	勝連地区	4,641	14,405	7,464	6,941	3.1	65	0.5
	与那城地区	4,248	13,451	6,892	6,559	3.2	△53	△0.4
平成13年	うるま市	37,562	113,674	57,040	56,633	3.0	582	0.5
	具志川地区	20,715	63,509	31,488	32,020	3.1	773	1.2
	石川地区	7,933	22,457	11,261	11,196	2.8	△43	△0.2
	勝連地区	4,682	14,372	7,437	6,935	3.1	△33	△0.2
	与那城地区	4,232	13,336	6,854	6,482	3.2	△115	△0.9
平成14年	うるま市	38,323	114,351	57,417	56,934	3.0	677	0.6
	具志川地区	21,207	64,045	31,763	32,282	3.0	536	0.8
	石川地区	8,138	22,621	11,366	11,255	2.8	164	0.7
	勝連地区	4,729	14,366	7,439	6,927	3.0	△6	△0.0
	与那城地区	4,249	13,319	6,849	6,470	3.1	△17	△0.1
平成15年	うるま市	39,162	115,232	57,839	57,393	2.9	881	0.8
	具志川地区	21,812	64,768	32,109	32,659	3.0	723	1.1
	石川地区	8,259	22,839	11,444	11,395	2.8	218	1.0
	勝連地区	4,805	14,388	7,482	6,906	3.0	22	0.2
	与那城地区	4,286	13,237	6,804	6,433	3.1	△82	△0.6
平成16年	うるま市	39,992	115,906	58,175	57,731	2.9	674	0.6
	具志川地区	22,417	65,355	32,397	32,958	2.9	587	0.9
	石川地区	8,369	22,903	11,457	11,446	2.7	64	0.3
	勝連地区	4,891	14,505	7,567	6,938	3.0	117	0.8
	与那城地区	4,315	13,143	6,754	6,389	3.0	△94	△0.7
平成17年	うるま市	40,799	116,347	58,343	58,004	2.9	713	0.4
	具志川地区	22,939	65,833	32,587	33,246	2.9	587	0.7
	石川地区	8,506	22,955	11,463	11,492	2.7	52	0.2
	勝連地区	4,936	14,459	7,546	6,913	2.9	117	△0.3
	与那城地区	4,418	13,100	6,747	6,353	3.0	△43	△0.3
平成18年	うるま市	41,611	116,828	58,588	58,240	2.8	813	0.4
	具志川地区	23,481	66,380	32,940	33,440	2.8	587	0.8
	石川地区	8,647	23,040	11,467	11,573	2.7	85	0.4
	勝連地区	4,967	14,284	7,464	6,820	2.9	117	△1.2
	与那城地区	4,516	13,124	6,717	6,407	2.9	24	0.2
平成19年	うるま市	42,243	116,839	58,404	58,435	2.8	540	0.0
	具志川地区	23,907	66,617	32,952	33,665	2.8	587	0.4
	石川地区	8,751	23,021	11,429	11,592	2.6	△19	△0.1
	勝連地区	5,011	14,222	7,378	6,844	2.8	117	△0.4
	与那城地区	4,574	12,979	6,645	6,334	2.8	△145	△1.1
平成20年	うるま市	42,986	117,185	58,464	58,721	2.7	710	0.3
	具志川地区	24,351	67,040	33,117	33,923	2.8	587	0.6
	石川地区	8,925	23,129	11,428	11,701	2.6	108	0.5
	勝連地区	5,083	14,139	7,341	6,798	2.8	117	△0.6
	与那城地区	4,627	12,877	6,578	6,299	2.8	△102	△0.8
平成21年	うるま市	43,881	117,976	58,897	59,079	2.7	743	0.7
	具志川地区	24,909	67,829	33,482	34,347	2.7	587	1.2
	石川地区	9,144	23,250	11,502	11,748	2.5	121	0.5
	勝連地区	5,143	14,102	7,336	6,766	2.7	117	△0.3
	与那城地区	4,685	12,795	6,577	6,218	2.7	△82	△0.6

※ 人口密度面積は、国土交通省国土地理院による。